

季刊 旬のブンカが集うコミュニティマガジン

ブンカ

BUNKA

vol.
87
2022
winter



旬の文化が集うコミュニティマガジン

季刊

ブンカ
BUNKA vol.87 2022.12.15

発行 公益財団法人 福井県文化振興事業団 福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」
〒918-8152 福井市今市町40-1-1 ☎077-638-8288 <https://www.hf.jp>



Interview

福井が生んだ天才少女の音楽が結んだ絆を携えて里帰りする

ヴァイオリニスト 篠原悠那氏



(公財)福井県文化振興事業団



ハーモニーホールふくい



福井駅東口から見る北陸新幹線福井駅。「太古から未来へ〜悠久の歴史と自然がみえる駅〜」がデザインコンセプト。明るく開放的なガラスに唐門をモチーフとした木を組み合わせ、内装には県産木材や越前和紙などが使われている。



JR福井駅
住所/福井市中央1丁目

新幹線開業を控えて
変わりゆく県都の駅前

久しぶりに来る人は、その変貌ぶりに驚くのではないでしょう。福井電車とバス乗り場が整備された福井駅西口でまず目を引くのは、巨大な3体の恐竜。学術的にも的確に再現された動くモニュメントが、博物館以外で見られるのは珍しいそう。駅舎の壁面にも迫力満点の恐竜が描かれ、記念撮影にびったりです。ライトアップされた夜も必見。ほかにも実物大の恐竜の足跡化石(複製)や恐竜が飛び出すトリックアートなど、駅全体で「恐竜王国ふくい」をアピールしています。

駅西口から東口にかけては「ハピリン」プリズム「アオッサ」と商業施設が連なり、東西を地上で往来できます。数十年前、長い地下道を行き来していた人は、感慨深いのでは。福井駅西側の三角地帯は再開発が急ピッチで進んでいて、ホテルやマンションなどが誕生する予定。2024年春の北陸新幹線福井・敦賀開業を控え、福井駅はさらに進化していきます。

CONTENTS

- 1 今号の表紙
- 2 Essay フィールドミュージアムとしての一乗谷 文 朝倉由希氏
- 3 Interview 福井が生んだ天才少女、音楽が結んだ絆を携えて里帰りする ヴァイオリニスト 篠原悠那氏
- 5 「ハーモニーホールふくい」自主公演情報
- 9 越のルビーアーティスト 谷口佳奈香氏(ピアニスト)
- 10 アートシーンを召し上げられ 岩堀 葉氏(日本画家)
- 11 私の好きなハーモニーホールふくい 菊池亮太氏(ピアニスト) / カーテンコール
- 12 アートに会いに「福井銀行本店ビルギャラリー」(福井市)
モノガタリはここから「久々子湖河口付近の歩道橋」(美浜町)
- 13 2023年1~3月開催「ハーモニーホールふくい」コンサート情報
- 14 Information

読者のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、掲載している公演の開催日時や出演者などの情報は11月30日時点のものであり、予告なく変更される場合があります。詳しくは「ハーモニーホールふくい」の公式WEBサイト(<https://www.hhf.jp>)をご確認ください。

Essay

フィールドミュージアム
としての一乗谷

文 朝倉由希



あさくらゆき●福井市生まれ・在住。京都大学文学部卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科応用音楽学博士後期課程修了。博士(学術)。アートマネジメント、文化政策を専門とする。2017年度から文化庁地域文化創生本部研究官。2021年4月から公立小松大学国際文化交流学部准教授。現在、文化庁文化創造アナリスト、福井県芸術文化アドバイザー。共著に「文化で地域をデザインする―社会の課題と文化をつなぐ現場から」(学芸出版社、2020)など。

一乗谷は生まれ故郷である。発掘調査が始まったのは私が生まれる10年前で、記憶の中にある遺跡は、まだ今のように整備が進んでおらず、原野のようであった。小学校に入ったころ武家屋敷の復原が完成し、様々な施設が徐々に整っていった。それでも地元の小中学生にとっては、ここが何か特別な場所だという感覚はなかったように思う。

小学校高学年で、学校の目の前にある上城戸の発掘調査に参加する機会があった。指導を受け、土を慎重に掻き分けながら、遺物を探した。歴史好きな男子が変わった形の石を見つけ、やじりではないかと騒ぎ、みんなでひとしきり盛り上がった記憶がある。結局ただの石だったのだけだ。

小学校の行事で一乗城山オリエンテーリングがあったことも鮮明に覚えていて。英林塚ルートから登り、馬出ルートを下る。途中のクイズに答えつつ、設定時間に最も近いタイムで唐門前にゴールしたチームが優



令和4年10月1日開館の一乗谷朝倉氏遺跡博物館

勝となる。そんな具合に、遺跡の価値も意識しないまま身近な遊び場として慣れ親しんでいた。変わらぬ風景にほっとした。Uターン移住したのは10年前のことだ。子どものころ当たり前で接していた何気ない風景がいかに尊く貴重なものか、今は分かる。春は糸桜が遺跡を華やかに彩る。新緑の季節も良い。秋、谷一帯にたちこめる朝霧は幻想的だ。冬の朝、新雪をかぶった遺跡は格別で、まるで水墨画のよう。こんな場所は世界中どこにもない。

今年10月1日、一乗谷朝倉氏遺跡博物館がオープンした。半世紀以上にわたる発掘調査の成果として、多くの出土品や城下町ジオラマなどが展示され、往時の人びとの暮らしぶりや文化が伝わりやすく表現されている。建築そのものも美しく見ごたえ十分だ。そしてやはり皆さんには、ここをゲートウェイ(入口)として遺跡現地に訪れてほしい。これほど広

大な遺跡は全国でもまれで、さらには周辺の谷全体に、歴史を感じる痕跡が広く点在している。谷全体がフィールドミュージアム(野外博物館)なのだ。

また、山や川に目をやると、多様な植物や生き物が生息し、傍らにはひっそりと石仏がたずんでいたりもする。豊かな自然生態系と歴史の足跡が渾然一体となっているところに、一乗谷のえも言われぬ趣がある。栄華を誇ったのち焼け野原となり、いち山村と化したこの地で、その後の人びとが自然と共生した暮らしを営み、現在につながっていることを感じ取ることができる。

新博物館で学んでから現地を訪れると、イメージがさらに膨らむ。新博物館がフィールドミュージアムとしての一乗谷の奥深い魅力を引き出す場所になればと願う。

一乗谷朝倉氏遺跡博物館
福井市安波賀中島町8-10
TEL 0776-41-7700

詳しくはコチラ



ヴァイオリニスト

篠原 悠那

Yuna Shinohara

福井が生んだ天才少女、
音楽が結んだ絆を携えて里帰りする

撮影場所：ガルバスタジオ横ヶ谷

しのはら・ゆうな●坂井市出身。桐朋女子高等学校音楽科を首席で卒業、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ・コース(特待生)修了、スイス・国際メヌーイン音楽アカデミーを修了しディプロマを取得、桐朋学園大学大学院修士課程修了。第80回日本音楽コンクール第2位、並びに岩谷賞(聴衆賞)受賞。日本各地での音楽祭への出演のほか、若手実力派の「カルテット・アマビレ」1stヴァイオリンを務める。使用楽器は1832年製G.F.プレッセンダ ex「カール・フレッシュ」(宗次コレクション)。越のルビーアーティスト。

4歳から福井で育まれた
ヴァイオリニスト人生

2023年2月にヴィオラの
中恵菜さん、チェロの荒井結
さんとコンサートを開催する篠
原悠那さんは、ソリストとして、
また室内楽奏者として今、もっ
とも注目されている若手ヴァイ
オリニストのひとり。福井で
育った篠原さんがヴァイオリン
と出会ったのは、4歳の時だっ
たそうです。

「父がヴァイオリンを習わせ
たいというので、山下金彌先生に

ついたのが4歳の時です。金彌
先生にすすめられて、幼稚園の
頃から子どものためのヴァイオ
リン・コンクールに出場してい
ましたが、先輩を見ても皆さん
コンクールに出ていらしたの
で、それが「普通のこと」なんだ
なと思っていました」

かなりの英才教育を受けてい
たことがわかるエピソードです
が、その甲斐あって、小5で全
日本学生音楽コンクール小学生
の部第1位、中1で第10回ヴィ
エニャフスキ国際コンクール
ジュニア部門第3位、と国内外
のコンクールで次々に優秀な成
績を収めています。

中1の時には、ハーモニ
ホールふくいが開催する「若い

芽コンサート(共催：福井新聞
社)に出演。続いて中2、中3
と福井ジュニア弦楽アンサン
ブル・セミナーに参加します。

「弦楽アンサンブル・セミナー
では、NHK交響楽団の「顔(コ
ンサートマスター)」として長年
務められた徳永二男先生にご指
導を受けました。私はコンサー
トマスターという責任ある立場
をいただいて、先生から姿勢や
ボーイング、音を出す前の準備
の大切さ、パートごとの会話の
仕方など教えていただいたのが
印象に残っています。ソロばか
りやっていたので、アンサンブ
ルの楽しさを知ったのもこの
時。モーツァルトの「アイネ・
クライネ・ナハトムジーク」な
どに取り組み、今でも当時たく
さん書き込みをした楽譜を見返
しては、先生から教わったこと
を振り返る材料にしています」

世界に羽ばたく
カルテット・アマビレ

今回共演するヴィオラの中さ
んは、篠原さんと同じく、カル
テット・アマビレのメンバー

でもありません。桐朋女子高等学
校音楽科の入試の時に中さんか
ら声をかけられたのが出会い
だったとのこと。

「それから15年近く経ちます
が、今でもプライベートでも仲
良くしています。中さんは太陽
のような人で、そこにいるだけ
で周りが明るくなるような不思
議な魅力を持っているんです。
2015年、桐朋学園大学在学
中に「カルテット・アマビレ」
を結成しましたが、ムードメイ
カー的存在の中さんがいたから
こそ、私自身カルテットも音楽
も続けてこれたと思います」

カルテット・アマビレは2
016年、室内楽のコンクール
では最高峰といわれるARD
ミュンヘン国際音楽コンクール
で第3位と特別賞を受賞。以後、
プロの弦楽四重奏団として大活
躍を繰り広げています。

旧知のメンバーで贈る
室内楽を聴いてほしい

実は子どもの頃からオーケス
トラに入りたかった、という篠
原さん。

「人と一緒に演奏するのが大
好きなんです。最初はソロから
スタートしましたが、室内楽を
知ってからはそこで自分がやり
たい表現を獲得するためにソロ
の勉強を続けているという側面
もあります。今回は、よく知っ
ている2人と共演するというこ
とで、本当にワクワクしていま
す。小さい頃からお世話になっ
たハーモニホールふくいに
「帰って来たよ!」という気持ち
でみなさまに音楽をお届けでき
たらと思っています」

構成・文/室田尚子
(音楽評論家)



2022年11月14日「アルゲリッチ&フレンツ〜イグリー・キリスへのオマージュ、再び」
ピアノ：マルタ・アルゲリッチ
弦楽四重奏：カルテット・アマビレ(左：篠原悠那、右：中恵菜)



2008年10月16日「徳永二男氏による公開クリニック」
受講：福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー受講生
(左から2番目：篠原悠那)

協賛：福井新聞社 FBC 福井テレビ

2023.2/5(日)

篠原悠那×中恵菜×荒井結
弦楽三重奏への誘い

●小ホール/開場 13:15 開演 14:00
●全席指定・車いす席 ¥3,000 (小〜大学生:半額)
出演/ヴァイオリン:篠原悠那、ヴィオラ:中恵菜、チェロ:荒井結
※詳細はP.6へ



ヴァイオリン：篠原悠那 ヴィオラ：中 恵菜 チェロ：荒井 結

協賛：福井新聞社 FBC 福井テレビ



篠原悠那×中 恵菜×荒井 結
弦楽三重奏への誘い

2023.2.5 日

13:15開場 14:00開演 / 小ホール
全席指定・車いす席 ¥3,000
(小〜大学生:半額)

出演 / ヴァイオリン:篠原悠那
ヴィオラ:中 恵菜
チェロ:荒井 結
曲目 / コダーイ:インテルメッツォ
ドホナーニ:弦楽三重奏のためのセレナード
ベートーヴェン:弦楽三重奏のためのセレナード

チケット発売中

今、福井から贈る
絆が結んだ弦楽三重奏

弦楽器が3台集まって音による対話を繰り広げる弦楽三重奏の世界。ヴァイオリンの篠原悠那、ヴィオラの中恵菜、チェロの荒井結、それぞれの絆が結びついて今回のコンサートが実現する運びとなりました。まず篠原と荒井は福井大学附属小学校・中学校の同窓生であり、また福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナーで共に学んだことがあります。篠原と中は桐朋女子高等学校音楽科時代からの大親友で、現在は「カルテット・アマビレ」のメンバーとして活動しています。3人は2021年6月に揃って、東京・杉並公会堂での「Special Chamber Concert in TOKYO vol.3」に出演しました。この時の印象を、今回の企画の立案者である荒井は次のように語っています。

「篠原さんのヴァイオリンはソリステイックな中にも幅広い音楽があり、培ってきたエネルギーを感じました。一方、中さんのヴィオラは、一瞬チェロかと思うような深い音色と迫力に驚きました。この共演をきっかけに、篠原さんと中さんとのト

リオを福井の皆さんにお届けしたいと思いました。」

今回のプログラムは、「ドイツで始まり、ドイツで終わる」というもの。メインに置かれたベートーヴェン作曲「弦楽三重奏のためのセレナード」は、ベートーヴェンの生存中に大人気を博した名曲中の名曲。7つの楽章からできていますが最初と最後には入退場の行進曲が流れます。明るく生き生きとしたこの曲を中心に、ハンガリーのコダーイ、ドホナーニ、チェコのハンス・クラサという東欧出身でドイツで活躍した作曲家の作品がそろいました。東欧ならではの伝統音楽のリズム感を活かした個性あふれる音楽を楽しんでいただきたいという思いで、3人が知恵を絞って選んだそうです。

「3人だけで演奏するのは今回が初めて。未知の世界が開けるのではないかとワクワクしています」と篠原も語るように、八木ホールふくいの3人の音楽が今から楽しみです。

室内楽の楽しみを知ったのは10代の頃で、その魅力をとくさん感じ深く知っていったのは20代、ここ八木ホールふくいでもこれまでたくさんの編成の室内楽を弾かせていただきました。

今回はヴァイオリンの篠原悠那さんとヴィオラの中恵菜さんをお迎えして弦楽三重奏の魅力にはまっていきたいと思えます。普段はカルテット・アマビレという弦楽四重奏団で活動、また様々な室内楽編成で活躍しているお二人と自分が入ることどんな音の化学反応が起きるのかとても楽しみです。室内楽でしか味わうことのできない音楽の密な感覚と、音での会話、公演のステージ上でしか起きない即興性ある瞬間も含め、室内楽の醍醐味を福井の皆様にお届けいたします！

荒井 結

協賛：FBC

オーケストラキャラバン
ニューイヤーコンサート2023
山田和樹指揮
読売日本交響楽団
ピアノ：中瀬智哉

2023.1.22 日

14:15開場 15:00開演 / 大ホール
S席 ¥5,000 A席(バックシート) ¥4,500

※「文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業」の助成により、お求めになりやすい価格となりました。学生席-U25(※25歳以下を対象としたチケット)の取り扱いはありません。

出演 / 指揮:山田和樹、ピアノ:中瀬智哉
管弦楽:読売日本交響楽団
曲目 / ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番
R.シュトラウス:アルプス交響曲
(主催:読売日本交響楽団 ほか)

チケット発売中



ピアノ：中瀬智哉 指揮：山田和樹



管弦楽：読売日本交響楽団

新年を寿ぐ、華麗な
オーケストラ・サウンド

2023年のニューイヤーコンサートで取り上げる2曲は、いずれもハリーモニーホールふくいの豊かな音響空間に映える作品です。リヒャルト・シュトラウスの「アルプス交響曲」は大編成のオーケストラの響きが特徴。アルプスの山を登りながら、夜明けから日没までの雄大な景色がまるで映像を観るように克明に描かれていきます。金管楽器の

ファンファーレ、ウィンドマシンやカウベルなど多彩な打楽器群など聴きどころ満載。さらに、ラスト近くにはホール自慢のドイツの名門カール・シュツェケ社のオルガンが鳴り響きます。親しみやすいメロディも登場し、聴き手を飽きさせません。

指揮の山田和樹は4回目のハリーモニーホールふくいの登場。福井のみならずにはお馴染みとなりました。細部まできっちり目を配りながら、壮大な音の伽藍を積み上げていくのは得意中の得意。「アルプス交響曲」はまさに山田の本領発揮のプログラムといえるでしょう。

もう1曲のラフマニノフ作曲「ピアノ協奏曲第2番」は、ロシアのロマンティズムあふれる音楽。ソリストは、富山県出身の期待の新星・中瀬智哉。憧れのピアノリストにホロウィッツやリヒテル、ミケランジェリの名前をあげる中瀬ですが、弱冠16歳とは思えないスケールの大きなピアノニズムにご注目ください。

この内容でS席5000円は破格のお値段です。新年の幕開けを華麗なオーケストラ・サウンドでお楽しみください。

中瀬智哉 インタビュー

慶應義塾高校に通いながら音楽活動を続けていらっしやいますね。

4歳の時からピアノを始め、将来は世界中の人に喜んでもらえるようなピアニストになりたい、という夢を持っていました。高校時代は音楽だけでなく色々な分野の勉強をすることで、「まだ触ったことのない心のパーツに手をのばしたい」と思いました。心を豊かにすることが、自分の音楽を豊かにすることにつながるのではないかと考えたのです。

慶應義塾高校では高校生として、一人の人間として、正統と異端の精神を学びたいと思っています。勉強とピアノとの両立は自分のモチベーションとなっていて、演奏の機会は僕にとって何よりの喜びであり、励みとなっています。

今回共演する山田和樹さんと読売日本交響楽団について教えてください。

山田マエストロは物腰の柔らかい方で、お話ししているだけで本当に幸せな気持ちになります。

「ニューイヤーコンサートに向けての意気込みを聞かせてください。」

ラフマニノフの「ピアノ協奏曲第2番」は大好きな曲です。冒頭でロシア正教の鐘の音が振り子のようにゆっくりと鳴らされて、そこにオーケストラが入り、音と感情の波がぶつかり合う瞬間は最高に美しく、いつも心が震えます。甘くて切ないメロディ、神秘的なハリーモニーを持った、ラフマニノフの心の震えのようなものが聞こえてくる作品です。この壮大で抒情豊かなラフマニノフの世界を、山田和樹マエストロ、読響、そして福井のお客様と共有できることを楽しみにしています。

ちなみに山田マエストロは、ピアニストロやプロのオーケストラと共演できる貴重な機会に感謝し、皆様と一緒に演奏できることを今から楽しみにしています。

率いる「スーパージェネリス」2022年9月に古川展生が率いる「スーパージェネリス」2022年9月に古川展生が率いる「スーパージェネリス」



トリオAXIS

AXIS充実の4年目はクロスオーヴァーな音楽で

2019年にハモニーホールふくいのレジデントとしてデビューしたトリオAXIS。この間、メンバーはそれぞれ活動の範囲を広げながら、自らの音楽を追求してきました。ヴァイオリンの佐久間聡一は自らがコンサートマスターとしてジャパン・ジュネラル・オーケストラという団体を立ち上げました。ヴァイオラの生野正樹は国内主要オーケストラに客演首席として出演しながら、「石田組」をはじめとする室内楽のジャンルでも活発に活動を繰り広げています。チェロの奥泉貴主は、

協賛: 福井テレビ

「ステージできく」
トリオAXIS
ピアノ: 谷口佳奈香

2023.3.21 火・祝

14:15開場 15:00開演 / 大ホールステージ
ステージ席・車いす席・2階席(全席指定) ¥3,000
(小~大学生:半額)
出演 / トリオAXIS
(ヴァイオリン:佐久間聡一
ヴァイオラ:生野正樹、チェロ:奥泉貴主)
ピアノ:谷口佳奈香
曲目 / ガーシュウィン(ハイフェッツ編):3つの前奏曲 から
ピアノラ:92丁目通り
ピゼー(松本 望 編):カルメン・ファンタジー
ショーン:ピアノ四重奏曲 はか

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 12/13(火) 友の会: 12/14(水)
一般 12/17(土)

トリオAXIS出演情報
3/18(土)16:00
まちかどコンサート
池田町wacca ※入場無料



ピアノ: 谷口佳奈香

そんなAXISが来年少3月、昨年引き続き大ホールのステージ上に客席を設けた「ステージできく」コンサートを開催します。4年目を迎えてトリオとしての絆がいよいよ深まってきたことを示すように、今回はより遊び心にあふれたプログラムでお届けします。ガーシュウィンの「3つの前奏曲」から不世出の名ヴァイオリニスト・ハイフェッツの編曲版や、アルゼンチン・タンゴの革命児・ピアソラが書いた「92丁目通り」など、クロスオーヴァーな作品が並びます。そしてメインには彼らの真髄であるクラシック音楽から、近代フランスの作曲家ショーンの「ピアノ四重奏曲」をチョイス。ピアニストは、越のルビーアーティストの谷口佳奈香。谷口は今回の共演について「ショーンは大曲ですが、初共演のトリオAXISの皆さんと楽しんで取り組みたい」と語っています。ハモニーホールふくいで繰り広げられるヴィヴィッドでエネルギーあふれるAXISの舞台に、あなたも足を運んでみてはいかがでしょうか。



令和4年度 福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー受講生

子どもたちがつくり上げる豊かなアンサンブルの世界

福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナーは、若者にアンサンブルの楽しさを感じてもらおうと2006(平成18)年に始まりました。小学生から大学生までのメンバーが日頃の成果を披露する発表会が3月に開催されます(入場無料)。心をひとつにして贈る合奏にご声援をお願いいたします!

協賛: 福井ケーブルテレビ株式会社
さかいケーブルテレビ株式会社

福井ジュニア弦楽アンサンブル・セミナー
令和4年度発表会

2023.3.26 日

18:15開場 19:00開演 / 小ホール
出演 / ヴァイオリン:松谷由美、ヴァイオラ:山口梨恵
チェロ:荒井 結、チェロ:山内睦大
福井ジュニア弦楽アンサンブル
(協力: 福井水仙オーケストラ)
入場無料(要整理券) 整理券配布開始: 12/17(土)



吹奏楽: Osaka Shion Wind Orchestra



指揮: 佐々木新平

吹奏楽が奏でる「ドラゴンクエスト」で冒険へ!

Osaka Shion Wind Orchestraは1923年に誕生以来、「Shion(しおん)」の愛称で親しまれてきた交響吹奏楽団です。長らく「大阪市音楽団」の名前で活動してきましたが、2015年3月に「Osaka Shion Wind Orchestra」と改名しました。日本でもっとも長い歴史を持つ交響吹奏楽団として、クラシック音楽からポピュラーまで幅広いレパートリーを持ち、選抜高等学校野球大会の入場行進曲の録音や、全日本吹奏楽コンクールの課題曲の参考演奏なども担当。これまでに3度の大阪文化祭賞や日本吹奏楽アカデミー賞演奏部門賞、大阪芸術賞、なにわ大賞など数々の受賞に輝いています。

そんなShionが2023年3月にハモニーホールふく

Osaka Shion Wind Orchestra
ドラゴンクエストコンサート

2023.3.12 日

14:15開場 15:00開演 / 大ホール
S席・車いす席 ¥5,500 A席 ¥4,500
(小~大学生:半額)
出演 / 吹奏楽: Osaka Shion Wind Orchestra
指揮者: 佐々木新平
曲目 / ドラゴンクエストIから
序曲、ラダトーム城、フィナーレ
ドラゴンクエストIIから
遙かなる旅路~広野を行く~果てしなき世界
恐怖の地下洞~魔の塔、聖なるほころ、この道わが旅
ドラゴンクエストIIIから
世界をまわる(街~ジバンク~ピラミッド~村)
冒険の旅、海を越えて、おおぞらとど
戦闘のテーマ~アレフガルドにて~勇者の挑戦
そして伝説へ

(協力: FBC、スギヤマ工房有限会社
株式会社スクウェア・エニックス)

チケット発売日(電話・窓口・インターネット)
会員先行 特別協賛: 12/13(火) 友の会: 12/14(水)
一般 12/17(土)

「ドラゴンクエスト」の楽曲は度々オーケストラや吹奏楽のコンサートで取り上げられていますが、今回のShionが演奏するのは、すぎやまこういちが公認した真島敏夫の編曲によるもの。シンフォニックな世界観を吹奏楽で表現するのを得意とし、「宝島」などの編曲や多くの吹奏楽の作曲でも知られている真島の吹奏楽によるドラゴンクエストは、いわば「正統的なドラゴンクエストの世界」を表現しているといえます。初期の「ドラゴンクエストI」「同II」「同III」からの曲が次々に登場し、その中には「ドラゴンクエスト」というと誰もが思い浮かべる「I」の「序曲」や、「III」の「そして伝説へ」などが含まれているのもファンにはたまりません。

この春は、音楽による「ドラゴンクエスト」の冒険の旅に出かけにハモニーホールふくいにいらしてみませんか。

いで開催するのは、大人気ゲーム「ドラゴンクエスト」の楽曲によるコンサート。「ドラゴンクエスト」は1986年にシリーズ第1作がリリースされて以来、現在まで全12作を数える王道のロール・プレイング・ゲーム(RPG)。音楽は第1作からすぎやまこういちが担当しており、当時ゲーム音楽としては珍しかったオーケストラ・サウンドを採用したことでゲームの世界観に奥行きを与え、またそのシンフォニックな音楽自体にも人気が出ることになりました。

2つのオーディションで未来に羽ばたく才能を探せ!

ハモニーホールふくいは、これまで演奏家の育成に力を注いできました。その重要な2つの柱である「越のルビーアーティストバンク登録オーディション」が、2023年も公開で開催されます。「越のルビーアーティストバンク」は、応募資格をこれまでの20歳以上から18歳以上へと改定。福井県内の企業やイベントなどから要望の多い若手演奏家を、幅広く募って活動を応援していくためのオーディションです。「若い芽コンサート」はこれまで通り中高生が対象。

両オーディションとも国内外で活躍する審査員が厳正に審査。皆さんも未来に羽ばたく才能をご自分の目と耳で確かめてみてください。

協賛: (公財)げんてんふれあい福井財団

越のルビーアーティストバンク
登録オーディション
若い芽コンサート2023
出演者オーディション

2023.2.19 日

10:00~15:00(予定) / 小ホール
入場無料(事前申込不要)

福井ゆかりの音楽家
越のルビーアーティスト 谷口佳奈香 (ピアニスト)

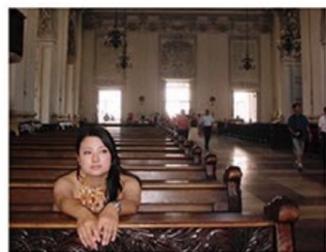
自分の色を大事にしなが
ら人に寄り添う演奏を。
そして社会に貢献できる音楽家に。



たにぐち・かなこ ●福井県生まれ。京都市立芸術大学音楽学部卒業後、渡独。国立デュルンベルク音楽大学大学院修士課程修了。ドイツ国家演奏家資格取得。京都芸術祭デビューコンサートで京都府知事賞受賞。現在、ソロ、室内楽、伴奏の分野で活動のかたわら後進を指導。来年3月、ハーモニーホールふくいで開催されるトリオAXISの公演にピアニストとして共演する。

谷口さんとピアノとの出会いは、4歳の頃。母親のアップライトピアノに触りたくて習い始めました。コンクールで入賞を重ねると、学校の先生など周囲から「この子の演奏はすごい」と注目されるように。身近な友人たちの演奏に向かう姿勢にも刺激を受け、「私はピアノが好き。」

これからは演奏を続けていく」と気持ちも固まっています。プロになるのは、自然な選択だったと言います。進学先の京都では、「合奏においては『自分の想いのまま』の演奏ではなく、一緒に弾く人の音に自分の音を添わせることの大切さを学びました」と振り返る谷口さん。その後留学したドイツでは、音色をメインに、演奏時の身体の使い方から表現のアプローチ法まで、幅広く学びを深めていったと言います。「今の自分をつくる上で欠かせない、刺激を受けた日々でした。」ドイツで充実した時間を過ごした谷口さんは、2008年に帰国。福井と関西を拠点に活動を始めます。県内では越のルビーアーティストとして出張音楽堂などに参加。来春は、ハーモニーホールふくいのレジデント「トリオAXIS」と初共演します。「弦の音に自分のピアノが融合して、どんな世界が生まれるのか、楽しみです」と語ります。



留学1年目を終えた夏にオーストリアのザルツブルクにてマスタークラスを受講、その合間をぬっての1コマ。聖ペーター教会。



小学校4年生時のピアノ発表会(フェニクス・プラザ小ホール)。メンデルスゾーン作曲「ロンド・カプリチオソ」を演奏中。

■今後の活動
来年度、関西方面(大阪、京都、兵庫)を中心に、学校公演[文化庁、尼崎市]や、リサイタルの伴奏[ドイツリット、トランペット、フルート]、トリオ演奏[フルート、クラリネット、ピアノ]などに出演予定。

公式ホームページでは「越のルビーアーティスト」の演奏動画もご覧いただけます。
<https://www.hhf.jp/artistbank/>

越のルビーアーティストとは、(公財)福井県文化振興事業団運営の「越のルビーアーティストバンク」に登録する福井県出身もしくは在住のプロの演奏家のこと。このアーティストバンクの活動に(公財)げんでんふれあい福井財団にご支援をいただいております。



日本画家
岩堀葉



自己の湧き出る感情を
”絵“という形で残しています

あてやかな着物の女性の女性に猫やライオンなどの動物。美しく、時に無残に描かれる蝶。「自分の中で生まれた想いを表現するために、描くものを考えることが多いです。動物は母親の愛情とか、蝶は人間の感情とか。」リアルに描かれた動物や蝶は、見グロテスクにも見えますが、絵全体に漂う独特の世界観は見る人の心をやさしく勇気づけてくれます。

大好きな絵をもっと描きたいと母親にねだり、小学4年生の時に絵画教室へ。美術短大卒業後に宝石店に就職してからも、絵はずっと続けていました。ところが出産を機に家庭に入ると、家事と子育てに追われる日々。絵を描けず鬱々とする



いわほり・よう ●1982年福井市生まれ。京都嵯峨美術短期大学卒。日本画のほか、ライブペインティングや現代アートなど幅広く手掛ける。現代画展(福井地区)大賞、今立アートキャンプ展示など。子ども絵画教室を主宰。

■活動報告はこちらから
[@iwahoriyo](https://www.instagram.com/iwahoriyo)

「Arts Happen!」は、福井県内のレストランやカフェなどで、県内や福井にゆかりのある若手アーティストを中心とした作品を展示・販売する取組みです。

自分を支えてくれたのもまた、描くことへの情熱でした。「絵が描きたい!描かなければ」と強く思ったんです。眠る時間を削ってでも描くことを諦めない姿に、義母や夫も積極的に協力してくれるようになったそう。子育てが少し落ち着くと、野外での作品展示や、ライブペインティングにも挑戦。一昨年からは子ども絵画教室を始めるなど、活動の場を広げています。

日本画の岩堀葉は、色付きの岩を砕いて作られるのだと説明しながら、「これって宝石のなりそこないなんですよ。なんか、すごいと思いませんか?」と岩堀さん。岩堀葉をはじめ日本画の絵の具は、塗り重ねることで発色と厚みを増します。制作は根

気のいる作業ですが、その中で気持ちも入っていくそうです。今回福井市のレストラン「10th」(いおり)に展示されたのは、不思議な雰囲気をもった花嫁の絵。実はキツネなのだそう。オーナーシエフの清水陽介さんは「インパクトのある絵でお客様の話題になりそう」と笑顔を見せます。岩堀さんは、「こうした出会いを機に暮らしの中のアートにも関心を持っていただけたら」と言います。



和フレンチ10th(いおり)
福井市新田塚1-1-1 新田塚アーク1F
営業時間 / 11:30~14:00、18:00~21:00(LO) 月曜定休
※姉妹店「サロンドグテ」(鯖江市丸山町1-2-4)でも12月中に岩堀さんの作品を展示

福井銀行本店ビルギャラリー（福井市）



11月25日まで展示されていたのは、福井市出身の洋画家・星詩奈さんの作品。箱庭療法にヒントを得た独特の世界を披露し、多くの人を魅了した。現在は岩永 純さんの鉛筆画の作品が展示されている。

福井銀行本店ビル（福井市順化1-1-1）

県の地場産業である繊維産業振興のため、1899(明治32)年に創立。福井県の第一地銀として地元経済をけん引する。創立120年の節目に建設された7階建ての斬新な新社屋は、北陸新幹線開通に向けて再開発が進む福井駅前の顔となっている。

2020年12月にグランドオープンした福井銀行の本店ビルは、地域の魅力を発信する拠点として、越前和紙や県産材、笏谷石などを随所に使用。誰でも自由に出入りできるギャラリーやライブラリー、カフェなども設けて、人々に交流の場を提供しています。

1階のギャラリーは、福井県ゆかりのアーティストなどの作品を展示し、銀行を訪れる人が気軽に

アートに触れられる空間。正面エントランスと北側入口の両方から出入りでき、銀行に直接用事がない人も入りやすくなっています。

作品は半年間飾られ、11月と5月末の土日に展示替えが行われます。アート作品は行員の間でも話題で「今回の面白くない」作品で随分雰囲気が変わったなど、忙しい仕事の合間の憩いにもなっているようです。

アートに会いに

Meet the Art



菊池亮太(ピアニスト)

きくちりょうた ●日本大学芸術学部音楽学科および同大学院修了。現在は、テレビや映画、アニメ、ゲーム音楽をはじめ、東京オリンピックCM等の楽曲提供も手掛ける。YouTubeチャンネル登録者数51万人の人気ピアノYouTuberとしても活躍中。



カフェのような雰囲気、ちょっとした休憩や打合せにご利用いただける空間。廊下には越前和紙による美術作品が飾られています。また廊下の反対側は一面がガラス張りになっていて、自然光を感じながらお過ごしいただけます。

私の好きな

ハーモニーホールふくい

ONとOFFが切り替わるこの空間が好きです。舞台上、お客様とコミュニケーションをとる時間は僕にとって最高に幸せな時間ですが、そのためには、自分自身や共演者の方々とディスカッションしたり、演奏前にホッと一息ついたりできる時間が必要で、このラウンジはそういう時間を過ごすのに最適な場所です。どこのホールにもこのようなスペースはあるのです

が、ハーモニーホールふくいの場合は、本番のステージからフラットに移動できて、ストレスフリーな感じがとてもいいと思います。

今回は、福井で大活躍の打楽器デュオ「パルス・ドゥ」のお二人とここでエネルギーチャージして、舞台上では彼女たちのファンの皆さまとの交流を存分に楽しめました。

アーティストとプライベートのスイッチが切り替わる場所「アーティストラウンジ」

久々子湖河口付近の歩道橋（美浜町）



美浜町早瀬の久々子湖からの水が海に注ぐ付近にかかる、歩行者専用の橋。昔、歩いて海水浴場に行けるよう設けられた名称もない橋だが、ロケで田中監督が気に入って撮影となった。ここから主人公の緒形直人はスタントマンなしで見事なダイブを披露した。

住所/美浜町早瀬

サクラサク

原作：さだまさし 監督：田中光敏（2014映画「サクラサク」製作委員会）

大崎俊介(緒形直人)は、大手電機メーカーのエリート社員。しかし妻(南果歩)や2人の子どもたちとの間は冷え切り、家庭は崩壊寸前だった。そんな中、同居する父(藤竜也)の認知症が発覚。俊介は重役昇進を棒に振って、父の記憶に残る満開の桜の場所を探しに一家5人で福井へ向かう。

映画「サクラサク」は、福井の美しい自然の中で、家族の絆を取り戻していく過程を丹念に描いた作品。福井県在住のひとりの女性の熱意が、行政と民間企業を動かして映画化にこぎつけました。

田中光敏監督は当時、「利休にたずねよ」がモントリオール世界映画祭で最優秀芸術賞を受賞。多忙を極める中、21日間の県内ロケではほぼ映像を撮り切りました。原作のさだまさしが、自身の映画で

初めて主題歌を手掛けています。主人公一家が老いた父の記憶をたどって車で移動する中で、あわら温泉や平泉寺、一乗谷朝倉氏遺跡といった観光地も登場。旅の途中、心を閉ざしたままの妻の前で主人公が水に飛び込み許しを乞うシーンが撮影されたのが、美浜町早瀬にあるこの橋です。近くには、家族が手をつないで桜を見上げるラストシーンが撮影された瑞林寺もあります。

モノガタリはここから

カーテンコール



Pulse Duのお2人が続けてきた打Tempathyシリーズの記念すべき20回目のコンサート。2人の息の合った演奏で、マリンバや打楽器の多彩な音色をお楽しみいただきつつ、ゲストの菊池亮太さんによる超絶技巧や即興演奏まで、盛りだくさんの内容をお届けしました。

- 打Tempathyへの想いが、伝わってくるコンサートで、もらい泣きしました。(40代/女性)
- 菊池亮太さんのアレンジ凄すぎる!!目が離せなかった。(40代/女性)
- 幅広いジャンルからの選曲が良かったです!!(60代/男性)
- 最初のマリンバの音色に驚き、演奏のすばらしさに驚き、パーカッションにも超驚きました。(60代/女性)
- 公演全体の構成が素晴らしいかったです。(50代/女性)

越のルビープロジェクト 打Tempathy vol.20 ~百花繚乱~

2022年10月16日(日)開催



左から 酒井奈賀美さん
酒井亮哉さん(勝山市)

息子が好きだった菊池さんに、私の方がすっかりハマっています。今日は一番前の席。YouTubeとは違い汗や息づかいまで感じられて「やはりライブは違う!」と感激。Pulse Duの2人との息もぴったりで、お互いの魅力を上手に引き出していました。



左から 南部佐知子さん
南部遥歌さん(永平寺町)

学校の吹奏楽でクラリネットを吹いています。一流の音楽に触れたくて、母と来ました。Pulse Duの息の合った演奏が素晴らしい。「ジャイロ」は異国の雰囲気であふれる。菊池さんを知るきっかけとなった「丸の内サディスティック」を生で聴けたのは感動です。

2023.1.29(日) ハーモニーアカデミー2022 ルビーカフェ

～ふくいゆかりのアーティストのお話と演奏～
「音楽を楽しめていますか？」 フルート：内田彩菜美

日時／2023年1月29日(日) 13:30開場 14:00開演
会場／ハーモニーホールふくい 小ホール
料金／入場無料(要事前申込/定員100名)
出演／お話と演奏：内田彩菜美(フルート/越のルビーアーティスト)
共 演：花田佳奈(ピアノ/越のルビーアーティスト)



申込みは
こちらから



内田彩菜美

2023.2.19(日) 公開オーディション

～2つの特色あるオーディションを一部刷新して開催～

越のルビーアーティストバンク 登録オーディション

福井県文化振興事業団が主宰する「越のルビーアーティストバンク」への登録オーディション
【対象：2023年4月1日時点で満18歳以上】

若い芽コンサート2023 出演者オーディション

2023年8月5日(土)開催「若い芽コンサート2023」の出演者を選考
【対象：2023年4月時点で中学生～高校生】

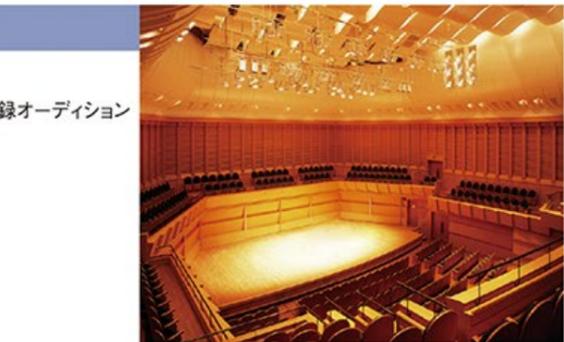
日時／2023年2月19日(日) 10:00～15:00(予定)
会場／ハーモニーホールふくい 小ホール
部門／ピアノ、器楽・作曲、声楽

審査員／植村太郎(名古屋フィル客演コンサートマスター、東京藝術大学准教授)
(敬称略 五十音順) 神田寛明(NHK交響楽団首席フルート奏者、桐朋学園大学教授)
中鉢智博(サントリーホール企画制作部副部長/プログラミング・ディレクター)
中川賢一(ピアニスト、お茶の水女子大学非常勤講師、桐朋学園大学非常勤講師)
吉田珠代(ソプラノ歌手、二期会会員)

申込締切／2023年1月19日(木) 必着
※オーディションは入場無料でご鑑賞いただけます。
(事前申込不要)



各種
募集要項は
こちらから



過去のオーディションの様子

上記2事業・お問い合わせ (公財) 福井県文化振興事業団 事業部 TEL.0776-38-8289(9:00～19:00・休館日を除く)

「二期に一度の会」とは、茶会において、その日の出会いが二度とはないことと心得、真心をもってもてなすべきとの千利休の言葉に由来するそうです。

流行り病に世界中が翻弄されて「日常」の概念が変化してきた中で、私たちハーモニーホールふくいがスローガンとして掲げてきた「一期一会」ならぬ「二期一演」の意味を噛みしめて、都度の演奏会を開催しています。

今年も福井ゆかりの演奏家が県内全市町を訪れる「まちかどコンサート」が始まっています。その街のその場で生まれる、地域の方々との出会いを楽しみに、演奏家や会場の方々と共に心をこめて音楽をお届けします。皆さまの街歩き中のひととき、豊かな時間を一緒に過ごせますように。

編集後記

【ハーモニーホールふくい 特別協賛社ご芳名】 ※50音順

<p>公債事業協賛社</p> <p>アズビルグループ アリス化学</p> <p>大塚山本寺幸御用達 興隆生堂</p> <p>JAKUETS</p> <p>日華化学</p> <p>福井銀行</p> <p>福井新聞社</p> <p>福井テレビ</p> <p>FUKUVI</p> <p>アズビルグループ リフージュ株式会社</p> <p>JAKUETS</p> <p>株式会社 新内</p> <p>福井信用金庫</p> <p>北陸銀行</p> <p>三井物産株式会社</p>	<p>URALA</p> <p>(公) 松げんてんふくいあいの福井財団</p> <p>CLAD CORPORATION 武生特殊鋼材株式会社</p> <p>FUKU</p> <p>福井信用金庫</p> <p>FBC</p> <p>ますも証券</p> <p>法人協賛社</p> <p>株式会社 新内</p> <p>福井銀行</p> <p>福井信用金庫</p> <p>北陸銀行</p> <p>三井物産株式会社</p>
---	--

3月

5 2022年度 ワールドシンキングデイ
(日) ●大ホール ●13:00開会
●無料(関係者のみ)
◎(一社)ガールスカウト福井県連盟
☎0776-41-4266

11 手島 葵 Concert 2023 ~Trio~
(土) ●大ホール ●14:00開演
●全席指定/一般:7,000円
学生:3,000円(チケットぴあのみで販売)
◎サンプラモーション
☎06-6225-2237(平日10:00～18:00)

フリージアコンサート

●小ホール ●10:00開演
●無料(関係者のみ)
◎フリージア 吉田 ☎090-1634-4301

12 Osaka Shion Wind Orchestra
(日) ドラゴンクエストコンサート

●大ホール ●15:00開演
●S席・車いす席:5,500円 A席:4,500円
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

第11回 NPO法人 ふくい子どものための音楽教室
演奏コース発表会

●小ホール ●9:45開演
●無料(関係者のみ)
◎NPO法人 ふくい子どものための音楽教室
☎0776-97-6833

21 <越のルビープロジェクト>
(火・祝) 「ステージでぞく」トリオAXIS
ピアノ:谷口佳奈香

●大ホールステージ ●15:00開演
●ステージ席・車いす席:2席席(全席指定)3,000円
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

26 音のパレットコンサート
(日) ●小ホール ●13:00開演
●無料(関係者のみ)
◎音楽教室 音の絵 ☎090-7080-0064

福井ジュニア弦楽アンサンブルセミナー
令和4年度成果発表会

●小ホール ●19:00開演
●入場無料(要整理券)
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

18 令和4年度
(土) 認定こども園 梅園幼稚園
生活発表会

●小ホール ●10:50開演/14:00開演
●無料(関係者のみ)
◎認定こども園 梅園幼稚園
☎0776-38-5811

19 ふくい県民総合文化祭
(日) 第17回
福井県合唱ふれあいフェスティバル

●大ホール ●12:00開演
●全席自由:1,000円
◎福井県合唱連盟 北編
☎0770-25-0684

[越のルビーアーティストバンク]登録オーディション
[若い芽コンサート2023]出演者オーディション

●小ホール ●10:00開演(予定)
●入場無料(事前申込不要)
◎(公財)福井県文化振興事業団
☎0776-38-8289

25 牛田智大
(土) ピアノ・リサイタル2023

●小ホール ●14:00開演
●全席指定:4,200円
◎エンタメスタイル
☎076-256-5538
(平日11:00～17:00)

26 ふくい県民総合文化祭
(日) 冬のマーチング・バトン
ふれあいフェスティバル
ビートセッション2023

●大ホール ●11:30開演/15:30開演
●全席自由:1,000円
◎福井県バトン協会事務局
fukui_baton_association@yahoo.co.jp

第28回
ピティナ・ピアノコンペティション
入賞者コンサート

●小ホール ●10:30開演
●全席自由:800円
◎ピティナ福井支部
開演室楽器 楽器センター福井 吉田
☎0776-52-0711

ハーモニーホールふくい
コンサート情報

CONCERT INFORMATION

[2023.1.2.3]

28 第56回 福井県吹奏楽
(土) アンサンブルコンテスト

●大ホール ●10:00開演
●全席自由:1,300円
●出演者の関係者及び、福井県吹奏楽連盟に加盟している団体の団員に限る。当日券はありません。
◎武生第二中学校 宮本
☎0778-23-1422

29 ハーモニーアカデミー2022
(日) ルビーカフェ「音楽を楽しめていますか？」
フルート:内田彩菜美

●小ホール ●14:00開演
●入場無料(要事前申込)
◎(公財)福井県文化振興事業団
☎0776-38-8289

2月

4 第36回 福井県ヴォーカル
(土) アンサンブルコンテスト

●大ホール ●10:00開演
●全席自由:500円
◎鯖江中学校 中山 ☎0778-51-2890

5 <越のルビープロジェクト>
(日) 篠原悠那×中 恵菜×荒井 結
弦楽三重奏への誘い

●小ホール ●14:00開演
●全席指定・車いす席:3,000円
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

12 第46回
(日) 北陸アンサンブルコンテスト

●大ホール ●9:00開演
●S席:5,000円
●全席自由:1,500円
◎武生第二中学校 宮本
☎0778-23-1422

1月

14 第56回
(土) カワイ音楽コンクール
カワイこどもピアノコンクール
オーディション

●小ホール ●10:15開始
●無料(関係者のみ)
◎秋河合楽器製作所 福井店
☎0776-23-6327

15 第56回
(日) カワイ音楽コンクール
カワイピアノコンクール予選会

●小ホール ●10:00開始
●無料(関係者のみ)
◎秋河合楽器製作所 福井店
☎0776-23-6327

21 おとまち@ふくい
(土) 音楽サークル
ジョイントコンサート

●小ホール ●14:00開演(楽器体験13:00～17:00)
●無料
◎(公財)福井県文化振興事業団
☎0776-38-8280

22 オーケストラキャラバン
(日) ニューイヤーコンサート2023
山田和樹指揮 読売日本交響楽団
ピアノ:中瀬智哉

●大ホール ●15:00開演
●S席:5,000円
●全席自由:1,500円
◎ハーモニーホールふくいチケットセンター
☎0776-38-8282

ハーモニーホールふくい
クリスマスフェスタ2022

12/24(土) 10:00-17:00
12/25(日) 10:00-16:00
入場無料

12/24(土) オルガン・ハンドベル
コンサート 大ホール
(出演者) バイオルガン:春日朋子
ハンドベル:北陸学院高等学校 ハンドベルクワイア
①11:00～②14:00～

12/25(日) ウィンターフェスティバル
ふくいの音楽愛好家による
ライブコンサート 大ホール
(出演者) バイオルガン:長谷川佳子
(ハーモニーホールふくいオルガニスト)
ヴァイオリン:山口梨恵
(越のルビーアーティスト)
①10:30～②13:00～③15:00～

12/24(土) ハーモニーホールふくい
アートツアー (要事前申込)
①12:00～②15:00～(各回約50分)

12/24(土)25(日) 両日開催
楽器体験&ミニミニコンサート
10:00～16:00
マリンバ体験:練習室1
ハープ体験:練習室5
和楽器体験:リハーサル室

クリスマスマーケット
大ホールホワイエ
24日(土)10:00～17:00
25日(日)10:00～16:00
※出店者は諸般の事情により変更になる場合があります。
●武珈琲ラボ
●chouchou muffin
●naekkoya
●flower atelier blanc
●Night sweets bar Salice
●&Lib[24日のみ] ●ssyk[25日のみ]